

大会には、全国から都道府県を代表する男女各32チームの選手、役員ら約600人が参加。雨や風、日差しや砂の状態など、絶えず変化する自然条件も相手にした戦いが繰り広げられました。

小学生のサーブによる始球式、会場内の放送や公式記録などには高校生、試合運営は中高生バレー部員が活躍し、約450人の児童生徒が競技を盛り上げました。

# ビーチバレー



▲淡路瓦の表彰状の贈呈



▲コートを整備する中高生



▲新聞づくりに励む高校生



▲熱戦を繰り広げる選手



▲大会の成功を祝って、クラッカーを一齐に鳴らすスタッフ



第21回サンライズ淡路少年ジュニア大会を兼ねてデモンストレーション行事とし開催されました。大会には、洲本市からも参加を含め17チームが参加。試合観戦を通じて選手と観客とが交流を深めました。

# 少年野球

# 少年相撲

第31回南あわじ市少年相撲府中大会を兼ねてデモンストレーション行事として開催されました。団体の部には市内の14小学校22チーム、個人の部には159人が参加し盛りあがった大会となりました。



▲兵庫県選手として出場した江本典隆さん（北阿万）

「渦の町土俵の海に光る技」をスローガンに、全国の都道府県を代表する47チームの選手、監督や役員ら約1,000人が参加。成人A、成人Bと少年の3種目、個人と団体に戦われました。

開始式での入場行進の演奏を受け持った市内の中学校、高校の吹奏楽部、大会歌を合唱したうずしお混声合唱団、熱戦の様子を写真で伝える地元写真愛好家、休憩所や控え室で選手らを迎えた一般募集の方、選手らの空腹を満たす郷土料理を振舞った皆さまなど、ボランティア約300人が競技を支えました。

# 相撲



▲大会運営ボランティア



▲多くの選手やボランティアが参加（開始式）

▲好評だった淡路手延べ素麺の振舞い

▲常陸宮さまから祝福を受ける少年団体優勝の兵庫県チーム

この活力を継続させ、すばらしいまちづくりに役立ててまいりたいと存じます。地域づくりは一度にはできません。住民の方々の一つ一つの積み重ねや長年にわたる取組みが大事です。市民の皆様におかれましては、仕事や勉強、家庭づくりや地域活動にご精励いただき、ふるさとのために一緒に頑張ります。

を盛り上げていただきました。ビーチバレーは、初日が雨で大変でしたが、ボランティアの皆様の中でも、地元中学や高校の文化部が積極的にお手伝いいただき、お茶席や生け花、手作りクッキーのおもてなし、放送や新聞づくりに至るまで全国に珍しい取り組みとなりました。また、瓦の表彰状は、テレビでも取り上げられ地域の工夫がPRできました。慶野松原海水浴場の砂は非常にビーチバレーに適しているとの高い評価をいただき今後も大きな大会が開かれるよう宣伝していきたいです。地域の方々によるはばたんの花壇づくりや浴道への花植え、中学・高校生の大会への運営参加や合同吹奏楽練習、実行委員の皆さまの事前準備やリハーサル、炬火リレーなど、当日だけでなく度重なるご協力にお礼申し上げます。

のじぎく兵庫国体が多岐の方々の支えにより無事終了し、成功裏に終わられましたことに心より感謝申し上げます。兵庫県勢は、天皇杯、皇后杯を手にし大躍進を遂げ、スター選手の活躍も併せて近年にない大きな盛り上がりを見せました。本市においては、正式競技の相撲、公開競技のビーチバレーとスポーツ芸術、デモンストレーションとして少年野球と少年相撲が開催されました。相撲競技では、日本相撲連盟や県相撲連盟のご尽力をはじめ、数多くのボランティアの皆様のおもてなしの心と地元関係者による数年間の取り組みがあり、大会運営・進行について非常に高い評価をいただき誇りに思っております。特に相撲競技の少年男子では、兵庫県が団体、個人の両競技で優勝され、大会

ふれあい市長室  
**国民体育大会の成功に感謝!**  
 南あわじ市長 中田勝久

# のじぎく兵庫国体 多くの市民に支えられ開幕

兵庫県で五十年ぶりに第六一回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」が、県下すべての市町を会場に九月三十日から十月十日まで行われました。南あわじ市内でも相撲やビーチバレー、少年相撲、軟式野球の競技が行われ、熱戦が繰り広げられました。市内会場での試合結果は十三ページ。